

テーマ 12	マッチング等を活用したれんが造りのホール利活用に向けた 施策の検証（湖西市）
--------	---

1. 解決したい課題の内容

- ・湖西市の「浜名湖れんが館」は市内中心地からほど近いところに位置する施設で、かつては宮崎製紙の乾繭（かんけん）倉庫として、1904 年に建造された。その後、改修、耐震補強を経て 2005 年に約 100 m²の多目的ホール（収容人数 100 名程度）として開館し、現在は主に、会議、セミナー、パーティ、展覧会等のイベント及びコンサート会場として利用されている。個人、自治会、商工会等による利用が多い。
- ・れんが館は歴史的な雰囲気を持っており、窓がなく、太陽光が差し込まない特殊な構造をしている（音が響く）ことが特徴である。
- ・しかし、駐車場までの距離が遠いなどの利便性の低さや認知度の低さなどから、令和 5 年度の年間利用日数は 64 日と低い稼働率に留まっており、維持管理のための費用捻出や、使われていないことによる建物の劣化加速について課題がある。

2. 実現したい目標について

- ・れんが館の認知度を上げるなどして、現状稼働率が低い平日の稼働率を向上させたい。
- ・民間事業者による長期利用を含めた利活用機会を増やしたい。

3. 必要とする技術について

以下の技術等を想定するが、利用用途によって異なるため、これにこだわらない。

- ・イベント等の施設利用を想定する主体とれんが館のマッチングを実現する技術
- ・音響や光などを用いた居心地の良い空間を醸成する技術

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

以下を想定するが、これにこだわらない。

- ・湖西市周辺でイベント企画を検討している主体の協力のもと、実証的にイベントを計画・実施し、その効果を分析する

※特殊な構造（窓がなく光が差し込まない）のため、音が響くことが特徴

※交流拠点やコワーキングスペース、貸し会議室、イベント会場としての利活用も想定する

5. 課題に関連する事業のホームページ URL

- ・湖西市「浜名湖れんが館」

<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/soshikiichiran/sangyoshinkoka/shokoroseikakari/7/1215.html>